

南日本新聞に、本校生物生産科の取組が掲載されましたので紹介します。

農家×薩摩中央高生

キクとハボタンで彩る



農家提供のキクなどを使ってフラワーアレンジメントを楽しむ生徒
＝さつま町の薩摩中央高校

さつま町の薩摩中央高校生物生産科3年生8人が14日、女性農家3人とフラワーアレンジメントを楽しんだ。農家が提供したキクや葉物と自分たちが育てたハボタンを組み合わせ、正月用飾りを作った。

同町と薩摩川内市の女性農業経営士でつくる「さつまファームレディ倶楽部」が、地元の農業に関心を持ってもらおうと5年前から開いている。生徒は平元めぐみ教諭(48)の指導を受けながら、9種類の花材を使って仕上げた。

さつま ▶ 年の瀬 正月飾り作り

葉物を栽培する同町柏原の南原農園取締役南原奈美子さん(61)は「花の地産地消にもつながれば」。ブライダル関係の専門学校に進学する竹之内風香さんは「一緒に作られて楽しかった。将来、仕事で生かしたい」と話した。

(右田雄二)